

青墓学校 第1学年
A表現（1）ア、（2）ア、B鑑賞（1）ア

題材名
カラフル いろみず



実践校
大垣市立青墓小学校
授業者 青木 典子
実践時期 2学期
全2時間

つながりを生かす

- 「もの」とのつながりについては、色と色を混ぜることで新しい色が生まれることを知り、色の美しさや特性に触れることができるようにする。そして、自分で色を生みだし、集め、並べるなどの活動を楽しむことを通して、色や形などに積極的に関わる態度を育てたい。
- 「ひと」とのつながりについては、作った色を仲間と見せ合ったり、仲間の造形物を見て感じたことを伝え合ったりすることを通して、色自体の楽しさや、色から思い付いた並べ方の面白さをなどに気づき、自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- 「ちから」とのつながりについては、色水を使った遊びを幼稚園などで経験している児童もいるため、その経験を生かしながら、色について学ぶことができるようにした。また、2年生での造形につながるため、光が当たったときに色の見え方が変化することに気付くことができるよう、晴れた日に行った。

題材の流れ

第1時 見通しをもち、色水をつくる

教師の演示を通して、色水のつくり方を理解し、色と色が混ざることによって新しい色ができる活動へ関心をもつ。基本となる色水は、赤・青・黄色・緑として、以下のようにつくった。

- ① ペットボトル3本に水を入れたものを用意する。
- ② 綿棒でペットボトルの蓋の裏に絵の具をつけて、蓋をし、ペットボトルを振って色を作る。（濃い色を作りたい場合は、続けて絵の具を加えていいことを伝えておく。）
- ③ 透明なプラスチックカップを配布する。
- ④ カップに、ペットボトルの色水を混ぜ合わせて

すごいな！なんで色が変わるのかな。はやく自分でもやってみたいよ。自分ならペットボトルの水をもっと濃い色で作ってみようかな。

ポイント1

方法を示すだけでなく、意欲を引き出すための手立てとして、実際に色水づくりをするところを演示した。

見て見て。
僕が作ったのと、私が作ったのが、似た色だったよ。偶然そうだったんだ！

似た色
みつけたよ！



第2時 好きな色の色水をつくり、活動を広げる

様々な色の色水をつくる活動に楽しみながら、つくった色水から感じたことや気付いたことをもとに、造形的な活動へとつなげていく。仲間の活動を見て、色自体の楽しさや、色から思い付いた並べ方の面白さを感じ、自分の活動の仕方を考え表現する。

ポイント2

色に着目するように促す声かけを大切にした。自分や仲間の色水を見て気付いたつづやきに、共感的な言葉かけをした。

ポイント3

色への気づきから構成的な活動へと促すために、グラデーションになるように並べたり、色の特徴から特定の図形にしたりするなど、発展させている児童がいたら全体へ紹介した。

作品例



端からちよつとずつ違う色になっているでしょう。

同じ色で並べたよ。

たった3色から作ったのに、全部ちがう色にすることができたよ。

△の形に並べて・・・。

授業を終えて

児童は、色と色を混ぜることで新しい色が生まれることを知り、楽しんで自分だけの色を生みだしていた。そして、今までの知識では知りえなかった、混ぜ方によってできたちょっとした色の変化に気付いたり、偶然できた色の特徴を感じ取ったりした。そういった感覚から造形的な活動を思いつくことができ、仲間との関わりの中でさらに色や形に対して関心をもつことができた。